

大学番号：私303

注3

[平成27年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

安田女子大学 現代ビジネス学部 国際観光ビジネス学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 安田学園

平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 庶務課長・^{キシタ}喜志多 ^{ヒロヤス}宏和

電話番号 082-878-8112

（夜間） 082-878-8112

F A X 082-872-2896

e-mail syomu.box@yasuda-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

現代ビジネス学部

<国際観光ビジネス学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	16
6. 留意事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 安田学園

(2) 大学名

安田女子大学

(3) 大学の位置

〒731-0153
広島県広島市安佐南区安東六丁目13番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヤスダ ヒロミ) 安田 裕実 (平成20年4月1日)		
学長	(セヤマ トシオ) 瀬山 敏雄 (平成22年4月1日)		
学部長	(ツジ ヒデノリ) 辻 秀典 (平成20年4月1日)		
学科長等	(トイ カナコ) 戸井 佳奈子 (平成27年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
現代ビジネス学部 国際観光ビジネス学科 学士(現代ビジネス学)	4年	60人	3年次1人	242人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	60人 []	— []	1.28倍	倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	416 []	— []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	401 []	— []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	169 []	— []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	77 []	— []			
入学定員超過率 B/A							1.28				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次							[-]	[-]	
2年次									
3年次									
4年次									
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	77

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	人	0人	平成24年度	人	人		#DIV/0! %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0人	平成25年度	人	人		#DIV/0! %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	77人	0人	平成27年度	0人	0人		0.00 %
合計	77人	0人					0.00 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<現代ビジネス学部 国際観光ビジネス学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
特別科目	まほろば教養ゼミⅠ	1通	1			3	4	1			通年		
	まほろば教養ゼミⅡ	2通	1			3	4	1			通年		
	まほろば教養ゼミⅢ	3通	1			3	4	1			通年		
	まほろば教養ゼミⅣ	4通	1			3	4	1			通年		
共通教育科目	キャリア ア 科 目	キャリアデザインⅠ	1前		2						兼 1		
		キャリアデザインⅡ	2後		2						兼 1		
		ボランティア活動	1・2後		2		1						
		インターンシップ	3前		2				1		兼 1		
		職と食ーパティシエ実習	1・2・3・4後		1							兼 1	
	教養科目	人間 理 解	人間論A	1・2・3・ 4		2						兼 3	
			人間論B	1・2・3・ 4		2						兼 2	
			こころの科学A	1・2・3・ 4		2						兼 2	
			こころの科学B	1・2・3・ 4		2						兼 3	
			からだの科学A	1・2・3・ 4		2						兼 1	
			からだの科学B	1・2・3・ 4		2						兼 1	
			からだの科学C	1・2・3・ 4		2						兼 2	
			人間形成の科学A	1・2・3・ 4		2						兼 2	
			人間形成の科学B	1・2・3・ 4		2						兼 1	
			ことばの世界A	1・2・3・ 4		2						兼 1	
		ことばの世界B	1・2・3・ 4		2						兼 3		
		日本の文学A	1・2・3・ 4		2						兼 1		
		日本の文学B	1・2・3・ 4		2						兼 2		
		世界の文学A	1・2・3・ 4		2						兼 2		
		世界の文学B	1・2・3・ 4		2						兼 4		
		芸術A	1・2・3・ 4		2						兼 2		
		芸術B	1・2・3・ 4		2						兼 2		
		社会 理 解	現代社会と人間A	1・2・3・ 4		2							兼 4
			現代社会と人間B	1・2・3・ 4		2		1					兼 5
			21世紀の社会と法A（日本国憲法）	1・2・3・ 4		2							兼 1
	21世紀の社会と法B		1・2・3・ 4		2							兼 1	
	21世紀の経済A		1・2・3・ 4		2		1						
	21世紀の経済B		1・2・3・ 4		2							兼 1	
	現代のビジネスA		1・2・3・ 4		2		1	2					
	現代のビジネスB		1・2・3・ 4		2							兼 2	
	現代社会と政治A	1・2・3・ 4		2		1							
	現代社会と政治B	1・2・3・ 4		2							兼 1		
国際 理 解	異文化理解A	1・2・3・ 4		2			1				兼 3		
	異文化理解B	1・2・3・ 4		2		1					兼 2		
	日本の歴史と文化A	1・2・3・ 4		2							兼 2		
国際 理 解	日本の歴史と文化B	1・2・3・ 4		2							兼 1		
	世界の歴史と文化A	1・2・3・ 4		2							兼 1		
	世界の歴史と文化B	1・2・3・ 4		2			1						
	国際協力A	1・2・3・ 4		2							兼 1		
	国際協力B	1・2・3・ 4		2							兼 2		
	数学の世界	1・2・3・ 4		2							兼 1		
自然科学の世界A	1・2・3・ 4		2							兼 2			

教養科目	科学技術理解	自然科学の世界B	1・2・3・4	2					兼	2	
		自然科学の世界C	1・2・3・4	2					兼	3	
		生命の科学A	1・2・3・4	2					兼	5	
		生命の科学B	1・2・3・4	2					兼	2	
		生命の科学C	1・2・3・4	2					兼	1	
		環境の科学A	1・2・3・4	2					兼	1	
		環境の科学B	1・2・3・4	2					兼	2	
		生活の科学A	1・2・3・4	2					兼	5	
		生活の科学B	1・2・3・4	2					兼	6	
		情報の科学	1・2・3・4	2					兼	4	
共通教育科目	情報処理科目	情報処理基礎Ⅰ	1前	1					兼	3	
		情報処理基礎Ⅱ	1前	1					兼	3	
		情報処理基礎Ⅲ	1後	1					兼	3	
		情報処理基礎Ⅳ	1後	1					兼	3	
		情報処理演習A	2前	1					兼	1	
		情報処理演習B	2後	1					兼	1	
		情報処理演習C	3前	1					兼	1	
		情報処理演習D	3後	1					兼	1	
	健康スポーツ科目	健康スポーツA	1・2・3・4	1		1				兼	1
		健康スポーツB	1・2・3・4前	1						兼	2
健康スポーツC		1・2・3・4後	1						兼	2	
健康スポーツD		1・2・3・4後	1		1					集中	
	野外活動	1・2・3・4前	2		1					集中	
基礎科目	外国語科目	英語リーディングⅠ	2前	1						兼	2
		英語リーディングⅡ	2後	1						兼	2
		英語ライティングⅠ	2前	1						兼	2
		英語ライティングⅡ	2後	1						兼	2
		英語コミュニケーションⅠ	1前	1						兼	5
		英語コミュニケーションⅡ	1前	1						兼	5
		英語コミュニケーションⅢ	1後	1						兼	5
		英語コミュニケーションⅣ	1後	1						兼	5
		フランス語コミュニケーションⅠ	1前	1						兼	1
		フランス語コミュニケーションⅡ	1後	1						兼	1
		フランス語コミュニケーションⅢ	2前	1						兼	1
		フランス語コミュニケーションⅣ	2後	1						兼	1
		中国語コミュニケーションⅠ	1前	1						兼	2
		中国語コミュニケーションⅡ	1後	1						兼	2
		中国語コミュニケーションⅢ	2前	1						兼	2
		中国語コミュニケーションⅣ	2後	1						兼	2
		アメリカ文化語学演習	1・2・3後	2						兼	1 集中
	共通教育科目	外国語科目	ニュージーランド文化語学演習	1・2・3後	2						兼
中国文化語学演習			1・2・3・4前	2						兼	1 集中
基礎養成科目		基礎国語演習	1前後	1						兼	1
		基礎社会演習	1前後	1						兼	1
		基礎数学演習	1前後	1						兼	1
		基礎理科演習	1後	1						兼	1
		基礎生物演習	1前	1						兼	1
		基礎化学演習	1前	1						兼	1
		基礎物理演習	1前	1						兼	1
			現代ビジネス概論	1前	2						兼
キャリア形成論	1前		2						兼	1	
観光学概論	1前		2		1						
国際観光論	1前		2			1					
経済学	1前		2		1						
経営学	1前		2						兼	1	

基礎科目	ITビジネス論	1前		2						兼	1
	簿記・会計学Ⅰ	1・3前		2						兼	1
	簿記・会計学Ⅱ	1・3後		2						兼	1
	リーダーシップ論	1後	2			1					
	モチベーション論	1後	2			1					
	人間行動学	1後	2							兼	1
	実用英語Ⅰ	1後・2前		1				1			集中
	実用英語Ⅱ	1後・2前		1				1			集中
	ビジネス英語基礎	1後・2前		1				1			集中
	統計学	2後	2							兼	1
	専門基礎科目	ビジネススキル演習	1前	1			1				
観光経済学		1後	2			1					
観光経営学		1後	2				1				
比較文化論		1後	2				1				
国内観光論		1後	2				1				
サービスマネジメント		1・2後	2				1				
アメリカの文化Ⅰ		1後・2前	1					1			集中
アメリカの文化Ⅱ		1後・2前	1					1			集中
国際ビジネスⅠ		1後・2前	2				1				集中
国際ビジネスⅡ		1後・2前	2				1				集中
観光と文化Ⅰ		1後・2前	2					1			集中
観光と文化Ⅱ		1後・2前	2					1			集中
情報社会論		2後	2							兼	1
サービスビジネス論		2後	2				1				
観光地理学		2後	2							兼	1
プレゼンテーション演習		2後	1							兼	1
日本文化演習		2・3・4後	2				1				
実用ビジネス英語Ⅰ		2後	2				1	1			
実用ビジネス英語Ⅱ		3前	2				1	1			
時事英語Ⅰ		2後	2				1	1			
時事英語Ⅱ	3前	2					1	1			
金融論	3前	2			1						
観光調査法	3後	2							兼	1	
レジャー・レクリエーション入門	3・4後	2			1						
専門基幹科目	観光政策論	2後		2		1					
	世界遺産論	2・3後		2			1				
	ホスピタリティマネジメント	3前	2					1			
	産業組織論	3前	2							兼	1
	地域経済学	3前		2						兼	1
	景観形成論	3前		2						兼	1
	都市政策ワークショップ	3・4前		2		1					
	サービスマーケティング論	3前		2						兼	1
	ホテルビジネス論	3前		2		1					
	航空ビジネス論	3前		2			1				
	国際ビジネス法	3後	2							兼	1
	国際貿易論	3・4後		2						兼	1
	観光情報マネジメント	3後	2							兼	1
	実用ビジネス英語Ⅲ	3後	2				1	1			
	実用ビジネス英語Ⅳ	4前	2				1	1			
専門教育科目	ファイナンス	3後		2		1					
	ツアービジネス論Ⅰ（アメリカ観光	3・4後		2		1					
	ツアービジネス論Ⅱ（ヨーロッパ観	3・4後		2		1					
	ツアービジネス論Ⅲ（アジア・アフ	3・4後		2		1					
	ボランティア論	3・4後		2		1					
	公共政策ワークショップ	3・4後		2		1					

	ヒューマンサービスマネジメント	4前		2			1			
	レジャー・リゾートビジネス論	4前		2			1			
	まちづくり論	4前		2					兼	1
	イベント・コンベンション事業論	4前		2					兼	1
	ユニバーサルツーリズム	4前		2		1				
	観光と環境	4後		2			1			
	観光リスクマネジメント	4後		2			1			
専門 演習・ 実習	海外研修事前演習	1後		1			1	1		
	海外インターンシップⅠ	1後・2前		2				1		集中
	海外インターンシップⅡ	1後・2前		1				1		集中
	卒業研究Ⅰ	4前	1			4	4	2		
	卒業研究Ⅱ	4後	1			4	4	2		
	卒業論文	4前	2			1				通年

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
33	136	0	169	33	136	0	169	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	安田女子短期大学と共用			
	校舎敷地	m ²	106,555m ²	m ²	106,555m ²				
	運動場用地	m ²	24,106m ²	m ²	24,106m ²				
	小 計	m ²	130,661m ²	m ²	130,661m ²				
	そ の 他	m ²	4,082m ²	m ²	4,082m ²				
	合 計	m ²	134,743m ²	m ²	134,743m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	安田女子短期大学と共用 校舎建て替えのため(27)				
	14,801.27 12,665.73 m ² (12,665.73m ²)	62,022.02 69,768.22 m ² (69,768.22m ²)	(m ²)	76,823.29 82,433.95 m ² (82,433.95m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学・短期大学全体 校舎建て替えのため(27)			
	61 64 室	14 11 室	143 134 室	4室 (補助職員 8人)	3室 (補助職員 1人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	現代ビジネス学部 国際観光ビジネス学科			10 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学・短期大学全体 大学全体で図書 301,809冊 購入により 充実(27)	
		[うち外国書]	[うち外国書]						[うち外国書]
		冊	種	種					
	現代ビジネス学部 国際観光ビジネス学科	330,000 [57,000] (301,809 [54,963 301,500])	1,600 [600] (1,600 [600])	2,500 [540] (2,000 [500])	4,800 (4,000)	14,847 (14,847)	266 (266)		
計	330,000 [57,000] (301,809 [54,963 301,500])	1,600 [600] (1,600 [600])	2,500 [540] (2,000 [500])	4,800 (4,000)	14,847 (14,847)	266 (266)			
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学・短期大学全体				
	4,218m ²	550席	330,000冊						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学・短期大学全体			
	1,937m ²	テニスコート		弓道場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	560千円	560千円	図書購入費	0千円	560千円	150千円	
	共同研究費等	350千円	350千円	設備購入費	0千円	200千円	200千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,140千円	1,140千円	1,140千円	1,140千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		各年度の手数料収入、資産運用収入、雑収入等をこれに充当する。							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	安田女子大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年	設年度	所在地		
大学	年	人	年次	人		倍					
文学部			3年次			1.07					
日本文学科	4	90	1	362	学士(文学)	1.10	昭和41年度			日本文学専攻、書道文化専攻平成23年より学生募集停止	
書道学科	4	30	1	122	学士(文学)	0.95	平成23年度				
英語英米文学科	4	110	2	444	学士(文学)	1.08	昭和41年度			英語英米文学科は平成23年度より入学定員120人から110人に減員	
児童教育学科	4	—	—	—	学士(文学)	1.03	昭和50年度			児童教育学科は平成24年度より学生募集停止	
教育学部			3年次			1.12					
児童教育学科	4	110	10	460	学士(教育学)	1.12	平成24年度		広島市 安佐南区 安東 六丁目 13番 1号		
心理学部			3年次			1.06					
心理学科	4	90	2	364	学士(心理学)	1.06	平成24年度				
現代ビジネス学部			3年次			1.11					
現代ビジネス学科	4	120	2	484	学士(現代ビジネス学)	1.10	平成15年度			現代ビジネス学科は平成24年より110人から120人に増員	
国際観光ビジネス学科	4	60	1	60		1.28	平成27年度				
家政学部			3年次			1.04					
生活デザイン学科	4	105	2	424	学士(家政学)	1.10	平成16年度			生活デザイン学科は入学定員平成23年度90人より100人、平成24年度より100人から105人に増員	
管理栄養学科	4	120	—	480	学士(家政学)	0.98	平成16年度			管理栄養学科は平成25年度より入学定員80人から120人に増員	
薬学部						0.70					
薬学科	6	120	—	720	学士(薬学)	0.70	平成19年度			薬学部薬学科は平成24年度より入学定員130人から120人に減員	

看護学部										0.97	
看護学科	4	120	—	240	学士(看護学)	0.97	平成26年度				
大学院											
文学研究科											
博士前期課程										0.58	
日本語学日本文学専攻	2	6	—	12	修士(文学)	0.33	平成6年度				
英語学英米文学専攻	2	6	—	12	修士(文学)	0.66	平成6年度				
教育学専攻	2	18	—	36	修士(文学)	0.63	平成6年度				
博士後期課程										0.03	
日本語学日本文学専攻	3	2	—	6	博士(文学)	0.00	平成8年度				
英語学英米文学専攻	3	2	—	6	博士(文学)	0.16	平成8年度				
教育学専攻	3	5	—	15	博士(文学)	0.00	平成8年度				
家政学研究科											
修士課程										0.33	
健康生活学専攻	2	3	—	6		0.33	平成25年度				
薬学研究科											
博士課程										0.16	
薬学専攻	4	2	—	6		0.16	平成25年度				
大学の名称	安田女子短期大学										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 年 設 度	所 在 地			
	年	人	年次 人	人		倍					
保育科	2	150	—	300	短期大学 士(保育)	1.02	昭和30年度				
秘書科	2	—	—	100	短期大学 士(秘書)	0.92	昭和63年度		平成27年より学生募集 停止		

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに,

平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・ 学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
- ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<現代ビジネス学部 国際観光ビジネス学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学科長)	トイ カコ 戸井 佳奈子 (54)	平成27年4月	21世紀の経済A 現代社会と政治A 経済学 観光経済学 金融論 ファイナンス 卒業研究I 卒業研究II 卒業論文						
専	教授	オハ ヨシコ 大庭 由子 <平成27年4月>	平成27年4月	まほろば教養ゼミI まほろば教養ゼミII まほろば教養ゼミIV まほろば教養ゼミIV 異文化理解B 観光学概論 ビジネススキル演習 観光政策論 ホテルビジネス論 ツアービジネス論I(アメリカ観光) ツアービジネス論II(ヨーロッパ観光) ツアービジネス論III(アジア・アフリカ) ユニバーサルツーリズム 卒業研究I 卒業研究II						

専	教授	利根 コウイチ 折本 浩一 <平成27年4月>	平成27年4月	まほろば教養ゼミ I まほろば教養ゼミ II まほろば教養ゼミ IV まほろば教養ゼミ IV ボランティア活動 現代社会と人間B 健康スポーツA 健康スポーツD 野外活動 レジャー・レクリエーション入門 都市政策ワークショップ ボランティア論 卒業研究 I 卒業研究 II					
専	教授	タケウチ ユウジ 竹内 雄司 <平成27年4月>	平成27年4月	まほろば教養ゼミ I まほろば教養ゼミ II まほろば教養ゼミ IV まほろば教養ゼミ IV 現代のビジネスA リーダーシップ論 モチベーション論 公共政策ワークショップ 卒業研究 I 卒業研究 II					
専	准教授	ハイ ジュンイチ 畑井 淳一 <平成27年4月>	平成27年4月	まほろば教養ゼミ I まほろば教養ゼミ II まほろば教養ゼミ IV まほろば教養ゼミ IV 異文化理解A 時事英語 I 時事英語 II 日本文化演習 卒業研究 I 卒業研究 II					

専	准教授	モンデン キョウコ 門田 恭子 <平成27年4月>	平成27年4月	まほろば教養ゼミ I まほろば教養ゼミ II まほろば教養ゼミ IV まほろば教養ゼミ IV 現代のビジネスA 実用ビジネス英語 I 実用ビジネス英語 II 実用ビジネス英語 III 実用ビジネス英語 IV 国際ビジネス I 国際ビジネス II 海外研修事前演習 卒業研究 I 卒業研究 II															
専	准教授	ニシハラ アキフミ 西原 明史 <平成27年4月>	平成27年4月	まほろば教養ゼミ I まほろば教養ゼミ II まほろば教養ゼミ IV まほろば教養ゼミ IV 世界の歴史と文化 B 比較文化論 世界遺産論 観光と環境 卒業研究 I 卒業研究 II															

専	准教授	オガマ ビデウニ 小熊 英国 <平成27年4月>	平成27年4月	まほろば教養ゼミ I まほろば教養ゼミ II まほろば教養ゼミ IV まほろば教養ゼミ IV 現代のビジネス A 国際観光論 観光経営学 国内観光論 サービスマネジメント サービスビジネス論 航空ビジネス論 レジャー・リゾートビジネス論 観光リスクマネジメント 卒業研究 I 卒業研究 II														
専	講師	トネトリ ヨシル 時任 芳昭 <平成27年4月>	平成27年4月	まほろば教養ゼミ I まほろば教養ゼミ II まほろば教養ゼミ IV まほろば教養ゼミ IV インターンシップ 実用英語 I 実用英語 II ビジネス英語基礎 時事英語 I 時事英語 II ホスピタリティマネジメント ヒューマンサービスマネジメント 卒業研究 I 卒業研究 II														

専	講師	ジョイ ジャーマンウォルシュ Joy Jarman-Walsh <平成27年4月>	平成27年4月	実用ビジネス英語 I 実用ビジネス英語 II 実用ビジネス英語 III 実用ビジネス英語 IV アメリカの文化 I アメリカの文化 II 観光と文化 I 観光と文化 II 海外研修事前演習 海外インターンシップ I 海外インターンシップ II 卒業研究 I 卒業研究 II					
---	----	---	---------	--	--	--	--	--	--

<共通>

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	フジムラ キンゴ 藤村 欣吾 (73)	平成27年4月	人間論B からだの科学C						
兼任	教授 (学部長)	ツジ ヒデノリ 辻 秀典 (72)	平成27年4月	21世紀の社会と法A (日本国憲法) 21世紀の社会と法B						
兼任	教授	シオザキ ヒデアキ 塩崎 英明 (70)	平成27年4月	現代のビジネスB	兼任	教授	タノウチ ユウジ 竹内 雄司 (53)	平成27年4月	現代のビジネスB	平成27年3月塩崎教授退職により担当者変更(27)
兼任	教授	カメイ チアキ 龜井 千晃 (70)	平成27年4月	自然科学の世界C						
兼任	教授	スズキ ユキオ 鈴木 幸夫 (69)	平成27年4月	日本の歴史と文化A						
兼任	教授	カンマ ヤスヒコ 加島 康彦 (69)	平成27年4月	世界の文学B						
兼任	教授	ナカガワ ケン 中川 憲 (68)	平成27年4月	世界の文学B						
兼任	教授	イカワ ヨシコ 井川 佳子 (68)	平成27年4月	生活の科学A						平成27年3月一身上の都合により退職。他に担当教員がいるため支障なし(27)
兼任	教授	モリカワ テツコ 森川 千鶴子 (67)	平成27年4月	現代社会と人間B						
兼任	教授	トモオカ ハルアキ 富岡 治明 (67)	平成27年4月	生命の科学A						
兼任	教授	タムラ ノリコ 田村 典子 (67)	平成27年4月	人間論A						
兼任	教授	カネオカ トシノブ 金岡 俊信 (67)	平成27年4月	人間論A						
兼任	教授	フナツ モリヒサ 船津 守久 (67)	平成27年4月	こころの科学B						

兼担	教授	ヤマウチ カズキ 山内 一晃 (67)	平成27年4月	生活の科学B						
兼担	教授	ムラカミ フミヨ 村上 文代 (67)	平成27年4月	生活の科学B						
兼担	教授	オオツカ ヒデアキ 大塚 英昭 (67)	平成27年4月	自然科学の世界C						
兼担	教授	ササキ ヒデオ 佐々木 英夫 (67)	平成27年4月	からだの科学C						
兼担	教授	ニンダ ノブコ 西田 信子 (67)	平成27年4月	生活の科学B						
兼担	教授	タカダ キヨシ 高田 清 (67)	平成27年4月	人間形成の科学A						
兼担	教授	タマダ ケンジ 玉田 健二 (66)	平成27年4月	世界の文学B フランス語コミュニケーション I フランス語コミュニケーション II フランス語コミュニケーション III フランス語コミュニケーション IV						
兼担	教授	クスノキ ミキエ 楠 幹江 (66)	平成27年4月	生活の科学A						
兼担	教授	ノノ村 康則 (66)	平成27年4月	キャリアデザイン I キャリアデザイン II 現代ビジネス概論 キャリア形成論						
兼担	教授	ハギ ノブオ 萩 信雄 (65)	平成27年4月	世界の文学A 芸術B						
兼担	教授	エグチ コウジ 江口 公治 (65)	平成27年4月	自然科学の世界A 基礎理科演習 基礎物理演習						
兼担	教授	フジサワ トシユキ 藤沢 敏幸 (65)	平成27年4月	こころの科学B						
兼担	教授	アラムラ マサヒサ 粟村 真久 (65)	平成27年4月	芸術A	兼任 講師	アラムラ マサヒサ 粟村 真久 (65)	平成27年4月	芸術A	平成27年4月 人事異動により 兼任講師(27)	
兼担	教授	フジモト カズオ 藤本 和男 (63)	平成27年4月	生活の科学B 景観形成論						
兼担	教授	モリタ ヤスヒロ 森田 泰博 (63)	平成27年4月	生命の科学A						
兼担	教授	マツオカ ヒロノブ 松岡 博信 (62)	平成27年4月	ことばの世界B						
兼担	教授	カウ トシユキ 加藤 敏之 (61)	平成27年4月	こころの科学A						
兼担	教授	アカギ レイコ 赤木 玲子 (61)	平成27年4月	からだの科学B						
兼担	教授	イワタ タカアキ 岩田 高明 (60)	平成27年4月	人間形成の科学A						

兼担	教授	オオシタ イチコ 大下 市子 (60)	平成27年4月	生活の科学B						
兼担	教授	トリイ ヨウコ 鳥井 葉子 (60)	平成27年4月	生活の科学A						
兼担	教授	イノウエ サチエ 井上 幸江 (60)	平成27年4月	生命の科学C						
兼担	教授	モリオカ ブンセン 森岡 文泉 (59)	平成27年4月	現代社会と人間A 現代社会と人間B 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ 国際貿易論						
兼担	教授	ハコガ マサユキ 箱田 雅之 (59)	平成27年4月	生命の科学B						
兼担	教授	フジムラ タケシ 藤村 猛 (58)	平成27年4月	日本の文学B						
兼担	教授	アオキ ジュンコ 青木 順子 (58)	平成27年4月	異文化理解B						
兼担		タモト カズオ 埴本 一雄 (58)	平成27年4月	現代のビジネスB 経営学 サービスマーケティング論						
兼担	教授	トモスイ リョウソウ 友末 亮三 (58)	平成27年4月	からだの科学A 健康スポーツB 健康スポーツC						
兼担	教授	モリモト キンジロウ 森本 金次郎 (58)	平成27年4月	生命の科学A						
兼担	教授	アオキ カツヒト 青木 克仁 (57)	平成27年4月	人間論B 国際協力A 国際協力B 人間行動学						
兼担	教授	イクナカ マサヤ 生中 雅也 (57)	平成27年4月	自然科学の世界A						
兼担	教授	ニシ ヒロユキ 西 博行 (57)	平成27年4月	自然科学の世界B						
兼担	教授	フジウラ イツキ 藤原 逸樹 (56)	平成27年4月	芸術A						
兼担	教授	ソメオカ シンイチ 染岡 慎一 (56)	平成27年4月	情報の科学						
兼担	教授	ハシモト マサツグ 橋本 正継 (55)	平成27年4月	数学の世界						
兼担	教授	オオヤマ ヨシヒコ 大山 義彦 (55)	平成27年4月	自然科学の世界B						

兼担	教授	タムラ ソウイチロウ 田村 聡一郎 (55)	平成27年4月	情報の科学 情報処理基礎 I 情報処理基礎 II 情報処理基礎IV プレゼンテーション 演習 観光情報マネジメント						
兼担	教授	コウグチ ケイスケ 高口 圭輔 (54)	平成27年4月	ことばの世界B						
兼担	教授	ヤマシタ アキヒロ 山下 明博 (54)	平成27年4月	インターンシップ 異文化理解B 国際協力B ITビジネス論 統計学						
兼担	教授	フルセ マサヨシ 古瀬 雅義 (52)	平成27年4月	日本の文学A						
兼担	准教授	ナカムラ セイゴ 中村 誠吾 (62)	平成27年4月	生活の科学B ニュージーランド文化 語学演習						
兼担	准教授	ハマモト サトコ 濱本 サト子 (58)	平成27年4月	異文化理解A						
兼担	准教授	タナベ ナオコ 田辺 尚子 (56)	平成27年4月	異文化理解A 現代社会と人間A						
兼担	准教授	ウチダ セイイチ 内田 誠一 (55)	平成27年4月	世界の文学A						
兼担	准教授	タキナミ ツネオ 滝浪 常雄 (55)	平成27年4月	人間論A						平成27年3月一身上の都合により退職。他に担当教員がいるため支障なし(27)
兼担	准教授	タニグチ クニヒロ 谷口 邦彦 (54)	平成27年4月	芸術B						
兼担	准教授	ニシムラ トヒロ 西村 基弘 (53)	平成27年4月	生命の科学B						
兼担	准教授	ミヤギシ テツヤ 宮岸 哲也 (51)	平成27年4月	世界の歴史と文化A						
兼担	准教授	ミヤケ ヒデフミ 三宅 英文 (51)	平成27年4月	現代社会と人間A 英語リーディング I 英語リーディング II						
兼担	准教授	ニシ マユミ 西 まゆみ (51)	平成27年4月	現代社会と人間B						
兼担	准教授	カワギシ カツミ 川岸 克己 (50)	平成27年4月	ことばの世界A						
兼担	准教授	ニシカワ ヒロコ 西川 ひろ子 (49)	平成27年4月	人間形成の科学B						

兼担	准教授	ヤシロ トシフ 八城 年伸 (49)	平成27年4月	情報の科学 情報処理基礎Ⅲ 情報社会論						
兼担	准教授	アサノ ティ 浅野 千恵 (49)	平成27年4月	生活の科学A						平成27年3月一身上の都合により退職。他に担当教員がいるため支障なし(27)
兼担	准教授	イカギ マサヲ 稲垣 昌宣 (49)	平成27年4月	自然科学の世界C 基礎化学演習						
兼担	准教授	ガブリエリ リチャード R.R.P.Gabrielli (48)	平成27年4月	異文化理解A						
兼担	准教授	ヤマモト フミエ 山本 文枝 (48)	平成27年4月	こころの科学B						
兼担	准教授	ヒラモト サトシ 平本 哲嗣 (46)	平成27年4月	現代社会と人間B						
兼担	准教授	ヤマカワ ケンイチ 山川 健一 (46)	平成27年4月	ことばの世界B 英語ライティングⅠ 英語ライティングⅡ						
兼担	准教授	ナガタ アキコ 永田 彰子 (46)	平成27年4月	現代社会と人間B アメリカ文化語学演習						
兼担	准教授	ニシムラ ノリヒサ 西村 則久 (46)	平成27年4月	情報の科学 情報処理基礎Ⅰ						
兼担	准教授	ミヤカワ ヒロエ 宮川 博恵 (45)	平成27年4月	生活の科学A						
兼担	准教授	コドウ シンイチ 近藤 慎一 (45)	平成27年4月	生命の科学A						
兼担	准教授	オガワ マリ 小川 麻里 (43)	平成27年4月	環境の科学B						
兼担	講師	タマイ サチエ 玉井 幸恵 (57)	平成27年4月	生命の科学A	兼担	准教授	タマイ サチエ 玉井 幸恵 (57)	平成27年4月	生命の科学A	平成27年4月 准教授に昇格(27)
兼担	講師	ヤギ ヒデフミ 八木 秀文 (47)	平成27年4月	環境の科学B						
兼担	講師	カウチ アキヒロ 河内 昭浩 (46)	平成27年4月	日本の文学B						平成27年3月 一身上の都合により退職。他に担当教員がいるため支障なし(27)
兼担	講師	サク タラスアレキサンダー Sak Taras Alexander (43)	平成27年4月	世界の文学B						
兼担	講師	タケキ ヒサシ 高木 久史 (41)	平成27年4月	日本の歴史と文化A						
兼担	准教授	ヒライシ カイ 平石 界 (41)	平成27年4月	こころの科学A 中国文化語学演習						平成27年3月 一身上の都合により退職。他に担当教員がいるため支障なし(27)

兼任	助教	センホウ ユキコ 先坊 幸子 (40)	平成27年4月	中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ						
兼任	講師	かう マサル 加藤 雅春 (65)	平成27年4月	基礎数学演習						
兼任	講師	ニイ カズヒコ 仁井 和彦 (68)	平成27年4月	21世紀の経済B 産業組織論 地域経済学	兼任 兼任	教授 講師	ニイ カズヒコ 仁井 和彦 (68)	平成27年4月	21世紀の経済B 産業組織論 地域経済学	平成27年4月 人事異動により 兼任教授(27)
兼任	講師	オオシタ エイゾウ 大下 英蔵 (66)	平成28年4月	簿記・会計学Ⅰ 簿記・会計学Ⅱ						
兼任	講師	オオトモ タツヤ 大友 達也 (48)	平成27年4月	現代社会と人間A						
兼任	講師	サカグチ タクヤ 坂口 琢哉 (38)	平成27年4月	情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ 情報処理基礎Ⅳ	兼任 兼任	准教授 講師	サカグチ タクヤ 坂口 琢哉 (38)	平成27年4月	情報処理基礎Ⅱ 情報処理基礎Ⅲ 情報処理基礎Ⅳ	平成27年4月 人事異動により 兼任准教授(27)
兼任	講師	シノキ カツヒコ 椎木 克彦 (74)	平成27年4月	基礎社会演習						
兼任	講師	シミ サチエ 三島 幸枝 (68)	平成27年4月	基礎国語演習						
兼任	講師	クラシゲ ヒロフミ 倉重 博史 (65)	平成27年4月	職と食ーパティシエ 実習						
兼任	講師	タカグチ コーツ クリスティ ヌ 高口コーツ クリスティ ヌ (65)	平成27年4月	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ						
兼任	講師	カタバ ヒロシ 片場 博史 (64)	平成28年4月	観光地理学						
兼任	講師	トダ ツネカス 戸田 常一 (62)	平成30年4月	まちづくり論						
兼任	講師	ササキ マユミ 佐々木 真弓 (57)	平成27年4月	基礎生物演習						
兼任	講師	カマワ カズノリ 亀川 和典 (55)	平成27年4月	現代社会と政治B						
兼任	講師	ヒサユキ ヤスオ 久行 康夫 (55)	平成29年4月	国際ビジネス法						
兼任	講師	タムラ ヒデアキ 田村秀昭 (54)	平成30年4月	イベント・コンベンション 事業論						
兼任	講師	ナダオ サトコ 瀧尾 智子 (53)	平成27年4月	健康スポーツB 健康スポーツC						

兼任	講師	ジョン コール John Cole (50)	平成27年4月	英語ライティング I 英語ライティング II						
兼任	講師	ホム ダイン 久保 大支 (49)	平成27年4月	情報処理基礎 I 情報処理基礎 II 情報処理基礎 III 情報処理基礎 IV 情報処理演習 A 情報処理演習 B 情報処理演習 C 情報処理演習 D						
兼任	講師	アンドリュー ライトフット Andrew R.Lightfoot (48)	平成27年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV						
兼任	講師	ナカモト シャーロット ルイス 中元 Charlotte Louise (43)	平成27年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV						
兼任	講師	スミス フローレンス ノブコ Smith Florence Nobuko (43)	平成27年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV						
兼任	講師	ウィリアムズ デビッド Williams David (41)	平成27年4月	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV						
兼任	講師	ナツカワ ユリコ 七ツ河 由里子 (41)	平成30年4月	英語リーディング I 英語リーディング II						
兼任	講師	ヨシハラ トシロウ 吉原 俊朗 (41)	平成29年4月	観光調査法						

(注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成（前年度の状況）	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
4	4	2	0	10	4	4	2	0	10	教授63歳 准教授・講師60歳	1	-	-
(4)	(4)	(2)	(0)	(10)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]		名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 - ・ 「年齢構成（前年度の状況）」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年4月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<現代ビジネス学部 国際観光ビジネス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 124単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)
② 施設・設備 a 講義室〇室(〇㎡) b 自習室〇室(〇㎡) c 図書〇〇冊	② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。
該当なし	

- (注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 平成16年度「安田女子大学・安田女子短期大学FD委員会」を設置した。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 平成26年度 1回開催 (但し、学内グループウェアを使用した電子会議は随時開催) 第1回 平成26年5月1日(木)、参加者:23名</p> <p>c 委員会の審議事項等 授業方法の改善について(授業アンケートの実施とそのフィードバック等) FD研修会について 補助金を利用した教育・研究体制等整備事業の活用について 学生調査について</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業方法についての研究活動 ・ 授業評価アンケート、授業公開 ・ 新任教員のための研修会 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD研修会の開催 ・ アンケート調査等の実施 ・ オリエンテーションの実施 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年度に合計4回のFD研修会を開催 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 新任教員向けFD研修会(開催日:平成26年6月19日(木)参加者:43名) 第2回 「英語で行う大学の授業」(開催日:平成26年7月3日(木)参加者:128名) 第3回 「アクティブラーニング」(開催日:平成26年7月17日(木)参加者:138名) 第4回 「学生の学習行動調査結果の分析と活用」(開催日:平成26年10月23日(木)参加者:146名) ・ 学期毎に学生への授業アンケートを実施。結果及び学科長による総評(フィードバック)は学内に公開(掲示)。

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・大学全体として、FD委員会で教員の資質向上の方策・改善について検討中
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - 前期および後期の授業終了時期（13～15回目の授業時）に原則として大学・短大に開講する全科目を対象に実施。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - 常勤教員は、翌学期開始前に担当科目の集計結果をWEBから閲覧。
 - 非常勤講師には、翌学期開始前に担当科目の結果を配付。
 - 学生には、各学科ごとの集計結果に学科長のコメントを付し、翌学期に学内に掲示。
 - c 研究科の授業評価アンケート
 - 研究科は教育・研究、院生の授業・研究の取り組み等について、自由記述を含めたアンケートを実施し、教育・研究の改善に努めている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地域・社会の強い要望と期待に応えての設置は、非常に意義がある反面、責任と重みを痛感している。今後は、設置の趣旨・目的の達成のため、広い視野と豊かな人間性と倫理観を備え、かつ医療人として質の高い薬剤師の養成を目指して教育を行う。

一方、学生の定員管理を適正に行うための学生確保については、大学全体としてさらに努力する。
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - ・平成22年4月12日 公表
 - b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成21年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受け、大学基準に適合していると判定された。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
 - b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27年6月10日)